

平成 28 年度
専門学校 北九州看護大学校

学校関係者評価表

平成28年度 学校関係者評価報告（専門学校 北九州看護大学校）

1 教育理念

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
学校の理念・目的・人材育成像は定められているか	適	適
学校における職業教育の特性は何か	適	
社会経済のニーズなどを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	ほぼ適	
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが保護者等に周知されているか	ほぼ適	
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	適	

【関係者評価】

教育理念に関する評価	評価項目	チェック欄	業界のニーズについて柔軟に取り入れ共有する体制を取ることに改善は必要と思われる。保護者への教育理念や教育目的、人材育成像の周知には一層の改善が必要である。
	適切	○	
	ほぼ適切		
	やや不適切		
	不適切		

2 学校運営 及び 重点目標

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
目的等に沿った運営方針が策定されているか	適	適
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	適	
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	適	
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	適	
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制は整備されているか	適	
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	適	
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	適	

【関係者評価】

学校運営及び重点目標に関する評価	評価項目	チェック欄	運営体制において全般的良好的な状態ではあるが、校務分掌の見直しを行うことで更に円滑に実行されることが伺える。情報システムについては引き続き改善の余地がある。
	適切	○	
	ほぼ適切		
	やや不適切		
	不適切		

3 教育活動

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針などが策定されているか	適	適
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	適	
学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	適	
キャリア教育・実践的な職業教育の視点にたったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	ほぼ適	
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直しなどが行われているか	ほぼ適	
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	ほぼ適	
授業評価の実施・評価体制はあるか	適	
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	ほぼ適	
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	適	
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	適	
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	適	
関連分野に関する業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するマネジメントが行われているか	ほぼ適	
関連分野における先進的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	適	
教員の能力開発のための研修等が行われているか	適	

【関係者評価】

教育活動に関する評価	評価項目	チェック欄	教育活動における教員の日々の努力が伝わってくる。改善も適宜適切行われており、今後に期待できる。
	適切	○	
	ほぼ適切		
	やや不適切		
	不適切		

4 学修成果

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
就職率の向上が図られているか	適	ほぼ適
資格取得率の向上が図られているか	適	
退学率の低減が図られているか	ほぼ適	
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	ほぼ適	
卒業後のキャリア形成への効果を把握し、教育活動の改善に活用されているか	適	

【関係者評価】

学修成果に関する評価	評価項目	チェック欄	退学率は低減しているは、教員の取り組みの成果が出ているものと感じる。卒業生の動向について掌握する必要がある。
	適切		
	ほぼ適切	○	
	やや不適切		
	不適切		

5 学生支援

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	適	適
学生相談に関する体制は整備されているか	適	
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	適	
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	適	
課外活動に対する支援体制は整備されているか	ほぼ適	
学生の生活環境への支援は行われているか	ほぼ適	
保護者と適切に連携しているか	適	
卒業生への支援体制はあるか	ほぼ適	
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	ほぼ適	
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	ほぼ適	
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	ほぼ適	

【関係者評価】

学生支援に関する評価	評価項目	チェック欄	学生支援は学習面、生活面、経済面で少数精鋭で実行されている。課外活動についてはカリキュラム編成上、満足できるもの近づくには難しいと思われる。
	適切	○	
	ほぼ適切		
	やや不適切		
	不適切		

6 教育環境

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	適	適
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	ほぼ適	
防災に対する体制は整備されているか	適	

【関係者評価】

教育環境に関する評価	評価項目	チェック欄	海外研修は難しいが、インターンシップについて計画されていることは評価できる。計画から実行に移ることに期待する。
	適切	○	
	ほぼ適切		
	やや不適切		
	不適切		

7 学生の受入・募集

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
学生募集は適正に行われているか	適	適
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	適	
学納金は妥当なものとなっているか	適	

【関係者評価】

学生の受入・募集に関する評価	評価項目	チェック欄	志願者数はやや増加したが、ここ数年間の急激な志願者の変化には目を向けなければならない。高校生の人気は変わらないが、養成校が増えたことで志願者の分散受験傾向が高まった。本校のOC参加は多いが、上手く取り込めていないのも現実。OCの歩留まりUPが今後の課題。
	適切	○	
	ほぼ適切		
	やや不適切		
	不適切		

8 財務

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	ほぼ適	適
予算・収支計画は有効かつ妥当なものといえるか	適	
財務について会計監査が適正に行われているか	適	
財務情報公開の体制整備はできているか	ほぼ適	

【関係者評価】

財務に関する評価	評価項目	チェック欄	定員充足率は入学時においては100%維持しているが、受験生の減少傾向が気かりである。綿密な財務分析を行い自己診断すること。学校の収入の大半は学納金収入である。学生に支持される教育活動および効果の高い学生募集活動に期待する。会計監査は適切に実施されている。
	適切	○	
	ほぼ適切		
	やや不適切		
	不適切		

9 法令等の遵守

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	適	適
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	適	
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	適	
自己評価結果を公開しているか	適	

【関係者評価】

法令等の遵守に関する評価	評価項目	チェック欄	法令等の遵守や個人情報保護について、実情に合わせた指導や点検は適宜行われており問題も見受けられない。
	適切	○	
	ほぼ適切		
	やや不適切		
	不適切		

10 社会貢献・地域貢献・リカレント教育

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	全体
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	適	やや不適
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	やや不適	
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	やや不適	

【関係者評価】

社会貢献・地域貢献・リカレント教育に関する評価	評価項目	チェック欄	学校祭と病院祭を連携実施したことは評価できる。学校資源を活用し、学生ボランティア支援を今後発展させることに期待する。評価については年々厳しくなることは否めない。
	適切		
	ほぼ適切	○	
	やや不適切		
	不適切		